

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【公開番号】特開 2018-16352 (P2018-16352A)

【公開日】平成 30 年 2 月 1 日 (2018.2.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-004

【出願番号】特願 2016-147799 (P2016-147799)

【国際特許分類】

B 6 5 D 83/02 (2006.01)

A 4 7 J 47/08 (2006.01)

G 0 1 F 19/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/02 D

A 4 7 J 47/08

G 0 1 F 19/00 F

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 26 日 (2019.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開口を有する容器本体と、

前記容器本体に取付けられ、前記開口を開閉可能である蓋と、

前記容器本体の内部に收容される計量部と、を有する棒状乾麺の保存容器であって、

前記容器本体は、前記開口から受け入れた棒状乾麺を收容する收容部を有し、

前記計量部は、底部と、該底部の両側に配置される第 1 及び第 2 の側部を有し、

前記計量部の底部は前記收容部の底部より高く、

前記第 1 の側部は前記收容部と前記計量部とを仕切り、

前記第 2 の側部は前記第 1 の側部より高く、

前記第 1 の側部と前記第 2 の側部の高さの差によって形成される第 1 の側部と蓋または容器本体の内面との隙間を介して、前記棒状乾麺が前記收容部と前記計量部との間を流通する、棒状乾麺の保存容器。

【請求項 2】

前記計量部はその長手方向において複数の部分に分かれている、請求項 1 に記載の保存容器。

【請求項 3】

前記容器本体は、前記計量部が分かれている部分に近接する箇所において、外側へ膨出する部分を有する、請求項 2 に記載の保存容器。

【請求項 4】

前記第 1 の側部の上端の高さと前記底部の高さの差が可変である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の保存容器。

【請求項 5】

前記第 1 の側部は上端部分が上下方向に動くことで上端の高さが可変である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の保存容器。

【請求項 6】

前記計量部は、前記容器本体に対して着脱可能な態様で取り付けられる、請求項１～５のいずれか一項に記載の保存容器。

【請求項７】

前記容器本体はその長手方向の端部に前記開口を有する、請求項１～６のいずれか一項に記載の保存容器。